



～ 浦高選手の底力 !! ～

5月26日(土)から行われた県高校総体で、浦高の活躍が目撃ましかつたのでここで紹介します。(右欄参照 →)

本校が誇る空手道部が男女総合アベック優勝という快挙を成し遂げました。これで全国高校総体33年連続出場という全国でも珍しい記録も継続されております。とは言え、試合は楽勝だったとは言えず“まさに紙一重”の展開でした。どちらかという十中八九は対戦校の有利な展開を、最後の最後で逆転したという感じです。それでもしっかり勝利を掴み取るところが、長年培った伝統の重みであり、底力であると感じました。

本校にニューヒーローが誕生しました。水泳部の活躍は目を見張るものがあり、記録ラッシュのオンパレードで新聞紙上を賑わせています。特に佐久田兄妹の活躍は九州、全国大会への期待が高まります。常に目標を高く設定し、日々努力している姿は素晴らしいと思えます。



さらに女子サッカー部の活躍には度肝を抜かれました。特に準決勝の美里高校戦は、第3号の“NEXT STAGE! 時の言葉”で紹介した「彼れを知りて己を知れば、百戦して危うからず」を実践してくれました。格上の相手を分析し、自分たちがいかに戦うか考え抜いた作戦でした。監督の新垣卓弥先生が考えに考えた戦法を、選手が必死に走り、守り抜いた結果だと思いました。また、決勝では本校応援団が雨の中、傘も差さずにびしょ濡れになりながら応援していました。本当に素晴らしい“浦添魂”を見せてもらいました。

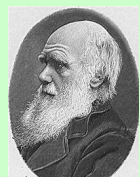
ここまで頑張ってくれた3年生諸君、本当にお疲れ様でした。3年間部活動を全うした君たちは、かけがえのないキャリアを積んだこととなります。これからの人生が証明します。校長

*** 校長雑感 ***

女子サッカーの準決勝でPK戦となり、相手選手がゴールを外したとき、思わず“よっしゃー!!”と叫び拍手をしてしまった。しばらくして周りを見ると、はしゃいでいるのは自分だけで“ひんしゅく”をかってしまった。勝負とはいえ相手の失敗を喜んでしまった自分に、なんとも言えないむなしさを感じてしまった。まだまだ人間としての修行が足りないなと反省した。

～～～ 時の言葉 ～～～

最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるわけでもない。唯一生き残るのは、変化に対応できる者である。



ダーウィン (自然科学者)

動物は、その置かれた環境に適応できるように自らをつくり変えるとダーウィンは考えた。

私たちは、今置かれている境遇を受け入れ、どんな境遇にあっても適応できるように生きていかなければならない。校長

～ 学校別順位 4 位 ～

入賞者及び団体を掲載します。

【女子サッカー】 準優勝

【男子空手道】 総合優勝

団体形準優勝、団体組手優勝、個人形(川村真太郎 準優勝)個人組手(當山竜生 優勝、八木竜平 準優勝、當山晃生5位)

【女子空手道】 総合優勝

団体形優勝、団体組手優勝、個人形(當間琉妃 優勝、久場麗佳3位、佐和田莉乃3位)個人組手(仲村渠湖雪 準優勝、久場麗佳3位、當間琉妃5位)

【弓道】 女子団体 準優勝

【ハンドボール】 男子3位、女子3位

【男子水泳】

100M背泳ぎ 佐久田朝隆1位(大会新記録)、200M背泳ぎ 佐久田朝隆 1位、200M個人メドレー 上里泰斗之介1位、400M自由形 上里泰斗之介2位

【女子水泳】 総合2位

400Mリレー1位、800Mリレー1位、400Mメドレー1位

100Mバタフライ 佐久田真希1位、200Mバタフライ 佐久田真希1位(県高校新記録)光原優2位、400M自由形 大川結1位、800M自由形 大川結1位、100M背泳ぎ 田中萌2位、200M背泳ぎ 田中萌2位、100M平泳ぎ 神谷なな海3位、200M平泳ぎ 神谷なな海3位

【ボクシング】 学校対抗6位

ライトウェルター級 清村太陽 準優勝

バンタム級 宮城葵3位

【男子陸上】 4×400Mリレー4位

400MH 西江伊織4位、800M 服部寛也5位

【女子陸上】 砲丸投 前盛乃愛5位

【自転車】 総合2位

16kmポイントレース 銘苅清太2位、4km速度競争 銘苅清太2位、1kmタイムトライアル 銘苅清太3位、ケイリン 狩俣宏徳3位

入賞した選手及びチームの皆さんの活躍が、学校別順位4位という輝かしい結果となりました。5位以内を目指すと公言しておりましたので目標達成です。

これから、九州、全国大会への出場があると思いますが、ぜひ浦添高校の誇り、県代表の自覚を持って頑張ってください。応援しています。校長